

ふくしま 再生 短信

「交流の家」 誕生 10/4 お披露目 11/22 火入れ式



8 北側全景



7 南面テラス



6 和室



5 教室入口



2 佐須小・秘蔵のお宝



4 囲炉裏端



3 黒板

1 交流の家を囲む縁側は東から西へ伸び風と土の家へ・左手前は別棟のシャワー&トイレ

2020年10月12日午前9時、お披露目（10月4日）を終えた「交流の家」（仮称）を訪問。折しも交流の家の囲炉裏端で開催された打合せ（メンバー：合同会社虎捕の郷代表社員/佐須老人クラブ会長・佐藤公一さん、佐須老人クラブ前会長・菅野永徳さん、再生の会理事・矢野伊津子さん、同理事/健康・医療ケアチームリーダー・中町英佐子さん）に陪席。中町さん司会で進行、11月中旬テラスの建具も入り囲炉裏に火が入るようになり「火入れ式」を神事として行うことに話題は収束。日取りは旧暦の佳き日・11月22日、健康・医療ケアチームもこの日の再開が自然と結論。

交流の家の建築主体はふくしま再生の会、デザイン：サイクルアーキテクト山岸綾・

はりゅうウッドスタジオ協力、施工：佐々木木工所・芳賀沼製作。運営主体は合同会社虎捕の郷。

建築デザイナー山岸綾さんは新潟の「大地の芸術祭」総合アートディレクター・北川フラムさんの紹介、同芸術祭では施設設計も手掛けた方。フラムさんは解体（本年1月）前の佐須小を視察し保存建材につき助言。故芳賀沼整さんが主導した仮設住宅のログ資材は風と土の家に続き活用。

旧佐須小で積みあげた健康・医療ケアの交流が＜新佐須小＞でついに再開する。

（文責&撮影・若林一平）

健康・医療ケアチーム
火入れ式の日活動再開

招待を受けチームは活動再開。相澤医師の健康講話、個別相談、個別ケア、などを予定。